

試合No.	D4	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会							
		期 日	令和5年2月12日(日)			会 場		小田原アリーナ		
女子準決勝戦	CC	渡邊 整		U1	坂 美佑紀		U2	五十嵐 菜美		
	チーム名			1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
	東京成徳(東京)			35	26	25	13			99
千葉英和(千葉)			16	15	8	23			62	

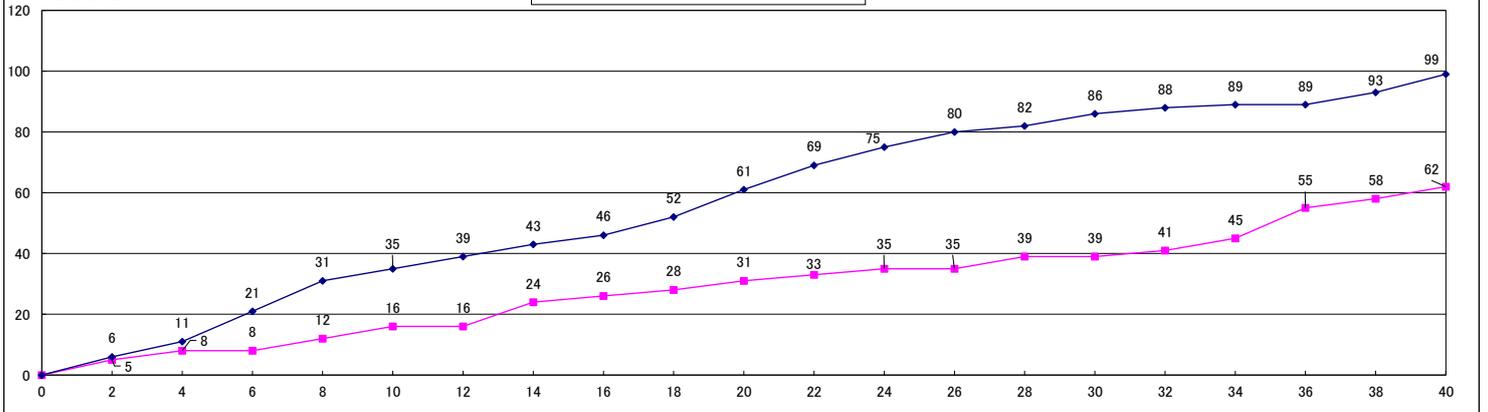
東京成徳(東京)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
奥山 奈津(CAP)	* 4	9	0	0		3	6	50%	3	3	100%	2	3	0	1	0	1	1
高松 花菜	* 5	16	4	9	44%	2	4	50%	0	2	0%	0	2	2	0	3	1	2
野崎 楓	* 6	22	4	7	57%	4	7	57%	2	2	100%	0	1	3	3	0	0	1
山内 晴恵	* 7	13	0	2	0%	6	13	46%	1	2	50%	1	3	0	1	2	1	1
岡田 愛羽	8	4	0	1	0%	2	3	67%	0	0		0	1	2	1	0	2	4
福田 ひより	9																	
谷川 美音	10	12	0	0		6	10	60%	0	1	0%	1	2	0	0	1	0	4
鈴木 若菜	* 11	15	3	5	60%	3	4	75%	0	0		0	0	0	0	1	2	2
加藤 凜音	12	2	0	4	0%	1	3	33%	0	0		0	0	0	0	1	1	2
恵良 みちる	13	6	0	3	0%	3	5	60%	0	0		1	1	1	0	0	0	3
今井 ひまり	14																	
安井 鈴乃	15																	
泉 恋菜	16																	
薩本 ララ子	17																	
黒岩 美悠	18	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	1	2	0	0	0	1
コーチ 小林 康裕																		
合計		99	11	31	35%	30	56	54%	6	10	60%	5	14	10	6	8	8	21

千葉英和(千葉)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
玉田 風海(CAP)	* 4	6	1	3	33%	0	2	0%	3	4	75%	0	0	0	1	0	1	0
伊澤 楓	* 5	13	2	5	40%	3	8	38%	1	4	25%	0	2	3	2	0	5	4
小林 咲穂	* 6	5	0	3	0%	2	10	20%	1	2	50%	0	2	0	0	0	3	1
鈴木 遥奈	* 7	9	1	2	50%	2	8	25%	2	2	100%	1	3	0	1	0	1	1
青柳 穂果	8	4	0	0		1	9	11%	2	2	100%	5	2	0	1	2	0	0
鈴木 梨花	9																	
松本 萌玖	10																	
池内 杏夏	11																	
渡部 怜梨	12																	
佐伯 彩	13	12	0	1	0%	4	6	67%	4	4	100%	1	2	1	0	1	2	3
崎山 すず	14																	
中田 葉菜	* 15	13	0	2	0%	4	9	44%	5	9	56%	2	6	0	0	2	4	3
内山 若菜	16																	
藤原 千紗	17																	
コールドスロー 山野 愛鈴音	18																	
コーチ 森村 義和																		
合計		62	4	16	25%	16	52	31%	18	27	67%	9	17	4	5	5	16	12

得点経過



戦評

1Q 両チームマンツーマンでスタート。東京成徳は#5や#7のドライブや#11の3ptsで点数を重ねていきリズム良く展開していく。一方の千葉英和は#4の3ptsや#5のジャンプシュートでゴールを決めるが、その後は東京成徳のディフェンスを崩せず、なかなか得点に繋がらない。残り3分43秒、23-10と東京成徳がリードを広げたところで、千葉英和がタイムアウト。その後も東京成徳は#5や#6が3ptsを決め得点を伸ばすのに対して、千葉英和は相手の得点を止められない。35-16東京成徳リードで1Q終了

2Q 出だしから東京成徳は#10のゴール下の体を張ったプレーで得点を重ねていく。一方の千葉英和は積極的にゴールに向かって攻めるが、思うように攻め切ることができずに点数を伸ばせない。残り6分8秒、千葉英和の#5や#7が3ptsを決めたところで、東京成徳がタイムアウト。その後は両チームとも一進一退の攻防となる。残り2分を切ったところで、東京成徳の#4のゴール下シュートや#11の3ptsなどが決まり、61-31、東京成徳リードで前半終了。

3Q 後半開始から東京成徳は#6の3ptsや#7のジャンプシュートなどで得点を重ねていく。対する千葉英和は#13のゴール下シュートや#15のシュートで応戦するもなかなか差を縮めることができない。その間、東京成徳はオフェンスでもディフェンスでもリバウンドを粘り、シュートチャンスを増やして得点を伸ばしていき。千葉英和も#13のドライブや#6のジャンプシュートが決め勢いにこのって何とか追いつきたいところであったが、その後はシュートを決めきれず86-39、東京成徳リードで3Q終了。

4Q 千葉英和が開始早々、#7のドライブや#8のゴール下シュートで攻撃を成功させる。その後も千葉英和は#5の3ptsや#15のドライブを着実に点数を重ねて点差を縮めようとする。一方の東京成徳は千葉英和の果敢に攻めてくる攻撃にファールがかかさんでしまい、フリースローを与えてしまう。しかし、そんな中でも東京成徳は#13のジャンプシュートなどで千葉英和の追撃を抑え、99-62で東京成徳が勝利した。